

11.14 院内学習会

普天間アセス方法書の大きな過ち

趣 旨

普天間飛行場代替施設（キャンプ・シュワブ沿岸案）の環境アセスメントは、事前調査で自然環境と野生生物に悪影響を及ぼし、方法書に弾薬搭載場や船舶用岸壁の存在を記載しないなど、その手順や内容に大きな問題がある。また一方では、アセス手続きのなかで沖合移動を図るなどの画策が進みつつある。この学習会では、アセスの手続きや方法書の問題点を学び、それをもとに事業者である防衛省に対して方法書の撤回を求める。また、沖縄県知事および環境影響評価審査会に対しても、その意見書に方法書の撤回を含めるように働きかける。

呼びかけ人

照屋寛徳（衆議院議員）、赤嶺政賢（衆議院議員）、喜納昌吉（参議院議員）、
糸数慶子（参議院議員）、山内徳信（参議院議員）

呼びかけ団体

WWF ジャパン、沖縄リーフチェック研究会、ジュゴン保護基金委員会、ジュゴンネットワーク沖縄、ジュゴン保護キャンペーンセンター、じゅごんの里、沖縄ジュゴン環境アセスメント監視団、へり基地いらぬ二見以北十区の会、へり基地反対協議会、辺野古への基地建設を許さない実行委員会

日 時：2007年11月14日（水） 13：30－15：30

（同日午前中に防衛省への要請行動、15：30－16：00に記者会見を予定）

場 所：衆議院第一議員会館第3会議室

（一般参加者は、13：10に同ロビーに集合）

プログラム

開会挨拶

講演 1. 軍事施設・演習内容の未記載・隠蔽について・・・吉川秀樹（市民アセスなご）
コメント・・・真喜志好一（沖縄ジュゴン環境アセスメント監視団）

講演 2. アセス手続きと方法書の問題点・・・・・・・・・・花輪伸一（WWF ジャパン）

講演 3. 現地からの報告・・・・・・・・・・安次富浩（へり基地反対協議会）

質疑および意見交換

声明の採択

閉会挨拶

問い合わせ先

照屋寛徳事務所 03-3508-7069、山内徳信事務所 03-5512-2239、WWF ジャパン（花輪伸一）03-3769-1713

以上